

FMV Link 操作ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前にこのマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

マニュアルについて

本製品には、次の 3 種類のマニュアルがあります。

- スタートガイド
接続方法など、基本的な使い方を記載しています。
- 取扱説明書
注意事項、入力モードの設定方法（キーボードの場合）、MODE の切り替え方法（マウスの場合）、トラブルへの対処法（トラブルシューティング）など、詳細な使い方や設定手順を記載しています。
- FMV Link 操作ガイド
FMV Link（連動機能）の設定方法、操作方法、トラブルへの対処法（トラブルシューティング）などについて記載しています。

また、本製品を接続するパソコン／タブレット／スマートフォンのマニュアルもあわせてご覧ください。

マニュアルの表記

■本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合や、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略している場合があります。

■操作手順について

- Windows とその他の OS は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。そのため、このマニュアルをご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。
- このマニュアルでは、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■製品の呼び方

このマニュアルでは、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	マニュアルの表記
FMV Keyboard CX01MB、FMV Keyboard CX01MW、FMV Keyboard X01M	キーボード
FMV Mouse X01MB	マウス
Bluetooth®	Bluetooth

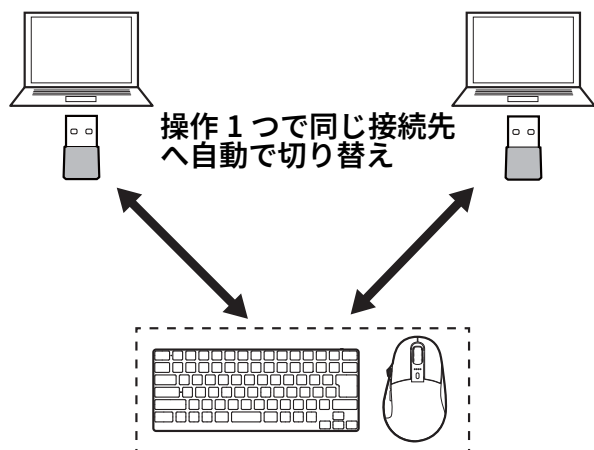
■商標および著作権

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, LLC が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright 2026 Fujitsu Client Computing Limited

1 FMV Link (連動機能) について

対応するマウスとキーボードで連動機能をオンにすると、一方の製品で接続先を切り替えたときに、もう一方の製品も同じ USB レシーバーへ接続先を切り替えることができます。複数のパソコンを切り替えて使用するとき、マウスとキーボードをそれぞれ操作する手間を減らすことができます。



2 お使いになる前に

連動機能をお使いになる前に、設定が必要になります。設定方法について説明します。

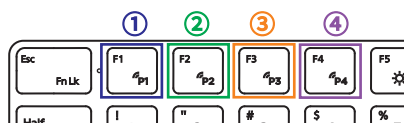
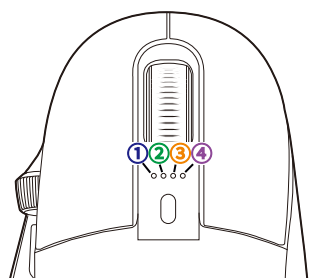
重要

- ▶ 連動機能を使用するには、マウス（ペアリングスロット）とキーボード（～）との同じ番号に、同じ USB レシーバーをペアリングしてください。
- ▶ USB ケーブルでの接続またはマウスとキーボードの電源スイッチが OFF の場合、連動機能の設定および連動機能を使用することはできません。
- 対応するマウス（FMV Mouse X01MB）とキーボード（FMV Keyboard CX01MB/CX01MW/X01M）を使用してください。
- USB レシーバーは、対応するマウスとキーボードに添付されているものを使用してください。
- マウスとキーボードを最新のファームウェアにアップデートしてください。
ファームウェアのアップデートは、専用アプリ「FMV Accessory App」から行います。
「FMV Accessory App」のインストール方法については、FMV サポートページの Q&A ナンバー「7711-4160」をご覧ください。
<https://www.fmworld.net/cs/azbyclub/qanavi/jsp/qacontents.jsp?PID=7711-4160>

接続先 (USB レシーバー) について

マウスはペアリングスロット 1～4 に、キーボードは (F1 キー) ～ (F4 キー) に、接続先 (USB レシーバー) を登録します。

必ず、マウスとキーボードの同じ番号に、同じ USB レシーバーを登録してください。



●正しい設定例 (○)

同じ番号に同じ USB レシーバーが登録されている。

どの番号に切り替えても、もう一方も同じ USB レシーバーへ連動して切り替わります。

番号	1	2	3	4
マウス	USB レシーバー A	USB レシーバー B	USB レシーバー C	未設定
キーボード	USB レシーバー A	USB レシーバー B	USB レシーバー C	未設定

●正しくない設定例 (×)

番号や USB レシーバーが一致していなく登録されている。

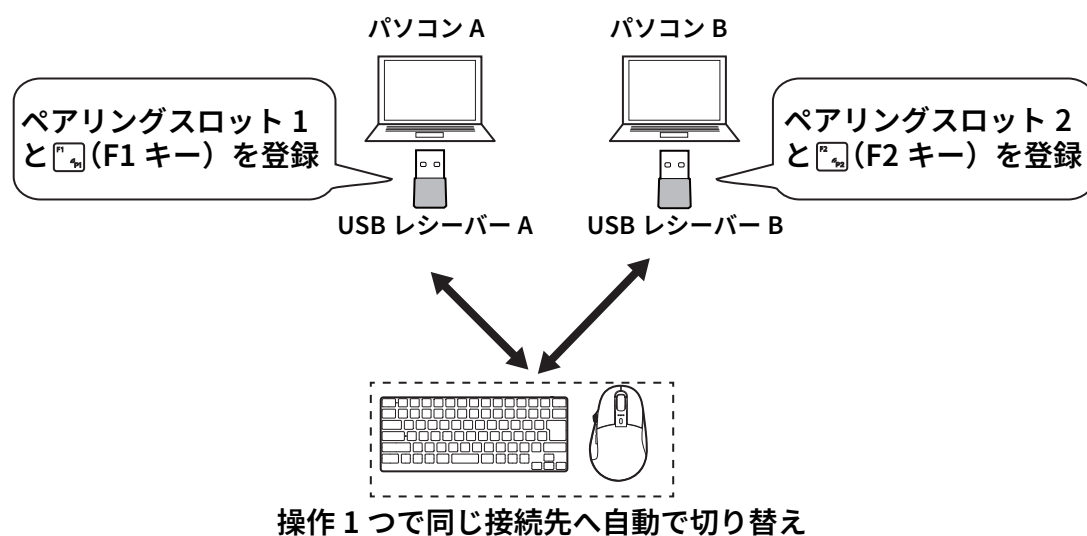
連動機能が正しく動作せず、もう一方の接続先が切り替わりません。

番号	1	2	3	4
マウス	USB レシーバー A	USB レシーバー B	USB レシーバー C	未設定
キーボード	USB レシーバー A	USB レシーバー D	未設定	USB レシーバー C

マウスとキーボードを設定する

ここでは、次のような設定を例にして説明します。

接続先	マウス	キーボード
パソコン A (USB レシーバー A)	ペアリングスロット 1	 (F1 キー)
パソコン B (USB レシーバー B)	ペアリングスロット 2	 (F2 キー)



■USB レシーバーをペアリングする

USB レシーバーに接続する方法は、『スタートガイド』の「USB レシーバーで接続する」をご覧ください。

- 1 パソコン A に USB レシーバー A を接続して、マウスのペアリングスロット 1 とキーボードの  (F1 キー) を登録します。
登録が完了したら、マウスとキーボードでパソコン A を操作できることを確認してください。
- 2 パソコン B に USB レシーバー B を接続して、マウスのペアリングスロット 2 とキーボードの  (F2 キー) を登録します。
登録が完了したら、マウスとキーボードでパソコン B を操作できることを確認してください。

■マウスとキーボードの連動機能をオンにする

ご購入時、連動機能はオフに設定されています。連動機能を使用する場合は、マウスとキーボードの両方をオンに設定してください。

□ マウスの場合

- 1 LINK 切り替えボタンを 3 秒以上長押しします。
LINK 切り替えランプが約 3 秒点灯します。

□ キーボードの場合

- 1  (Fn キー) を押しながら、 (L キー) を 3 秒以上長押しします。
 (L キー) のランプが約 3 秒青色に点灯します。

3 接続先を切り替える

「2 お使いになる前に」(→ P.2) をご覧になり、事前の設定が終了したら、接続先を切り替えます。

POINT

- ▶ もう一方の接続先は、操作やスリープの復帰時、USB レシーバーとの通信時に切り替えられるため、2 台間で接続先の切り替えに時間差が発生する場合があります。
- ▶ 連動機能がオンの場合、Bluetooth 接続の機器が登録されている番号への切り替えはできません。このとき、マウスのペアリングスロットおよびキーボードの  (F1 キー) ~  (F4 キー) による切り替え操作は行えません。
- ▶ 連動機能がオンの場合、切り替え先の USB レシーバーがパソコン／タブレットに接続されていない、または USB レシーバーに電源が供給されていないなどの理由により使用できないときは、自動的に切り替え前の接続先に戻ります。
- ▶ スリープから復帰したとき、接続可能な USB レシーバーを検出するため、登録済みの接続先を順番に探索します。登録されている USB レシーバーの数によっては、接続が完了するまでに数秒かかる場合があります。

パソコン A (USB レシーバー A、番号 1) からパソコン B (USB レシーバー B、番号 2) へ切り替える方法を説明します。

- 1 マウスまたはキーボードで、番号 2 へ切り替えます。
マウスまたはキーボードのどちらか一方を操作すれば、もう一方は、自動に切り替わります。
 - マウスの場合
 - 1 ペアリングボタンを複数回押し、ペアリングスロット 2 (左側から 2 番目) が点灯したら、接続が完了します。
 - キーボードの場合
 - 1  (Fn キー) を押しながら、 (F2 キー) を押します。

4 連動機能をオフにする

マウスとキーボードの連動機能をオフにする操作を説明します。連動機能をオンにする操作と同じ操作になります。

■マウスの場合

- 1 LINK 切り替えボタンを 3 秒以上長押しします。
LINK 切り替えランプが 3 回点滅します。

■キーボードの場合

- 1  (Fn キー) を押しながら、 (L キー) を 3 秒以上長押しします。
 (L キー) のランプが青色に 3 回青色に点滅します。

5 接続先を変更する

接続先を番号 3 や番号 4 にしたい場合は、次のように設定してください。

- 1 マウスとキーボードの連動機能をオフにします。
連動機能をオンにする操作と同じ操作をします。操作方法については、「4 連動機能をオフにする」(→ P.4) をご覧ください。
- 2 パソコンに USB レシーバーを接続し、マウスのペアリングスロットとキーボードの  (F1 キー) ～  (F4 キー) を登録します。
マウスとキーボードを連動させたい場合には、同じ番号を登録してください。
- 3 パソコン (USB レシーバー) とマウスとキーボードが、単体で接続できることを確認します。
- 4 連動機能を使いたい場合には、マウスとキーボードの連動機能をオンにします。

6 トラブルシューティング

連動機能がうまく動作しないときは、次の表をご覧ください。対処方法を行ってください。

現象	原因	対処
連動機能をオンにできない。	USB レシーバーが正しく接続されていない。	本製品とパソコン／タブレットから USB レシーバーを取り外し、再度接続してください。USB レシーバーの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
	USB レシーバーと、マウスおよびキーボードのペアリングが解除されている可能性がある。	USB レシーバーと、マウスおよびキーボードをペアリングする方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
マウスまたはキーボードのどちらか一方を操作しても、もう一方の接続先が切り替わらない。	マウスおよびキーボードの両方の連動機能がオンになっていない。	マウスおよびキーボードの両方の連動機能をオンにしてください。連動機能をオンにするには、「■ マウスとキーボードの連動機能をオンにする」(→ P.4) をご覧ください。
	マウスとキーボードの同じ番号に、同じ USB レシーバーがペアリングされていない。	マウスとキーボードの同じ番号に、同じ USB レシーバーをペアリングしてください。詳しくは、「接続先 (USB レシーバー) について」(→ P.2) をご覧ください。
切り替え先で操作できない。	切り替え先の USB レシーバーがパソコンに接続されていない。	本製品とパソコン／タブレットから USB レシーバーを取り外し、再度接続してください。USB レシーバーの接続方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
	切り替え先の USB レシーバーと、マウスおよびキーボードのペアリングが解除されている可能性がある。	USB レシーバーと、マウスおよびキーボードをペアリングする方法については、『スタートガイド』をご覧ください。
マウスとキーボードの連動機能がオンかオフかわからない。	—	・マウスの場合 オンに切り替えたとき、LINK 切り替えランプが約 3 秒点灯します。オフに切り替えたとき、LINK 切り替えランプが 3 回点滅します。 ・キーボードの場合 オンに切り替えたとき、 (L キー) のランプが約 3 秒青色に点灯します。オフに切り替えたとき、 (L キー) のランプが 3 回青色に点滅します。

FMV Link 操作ガイド

B6FY-6381-01 Z0-00

発行日 2026 年 10 月

発行責任 富士通クライアントコンピューティング株式会社

〒 212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2 新川崎ツインタワー（ウエストタワー）

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。